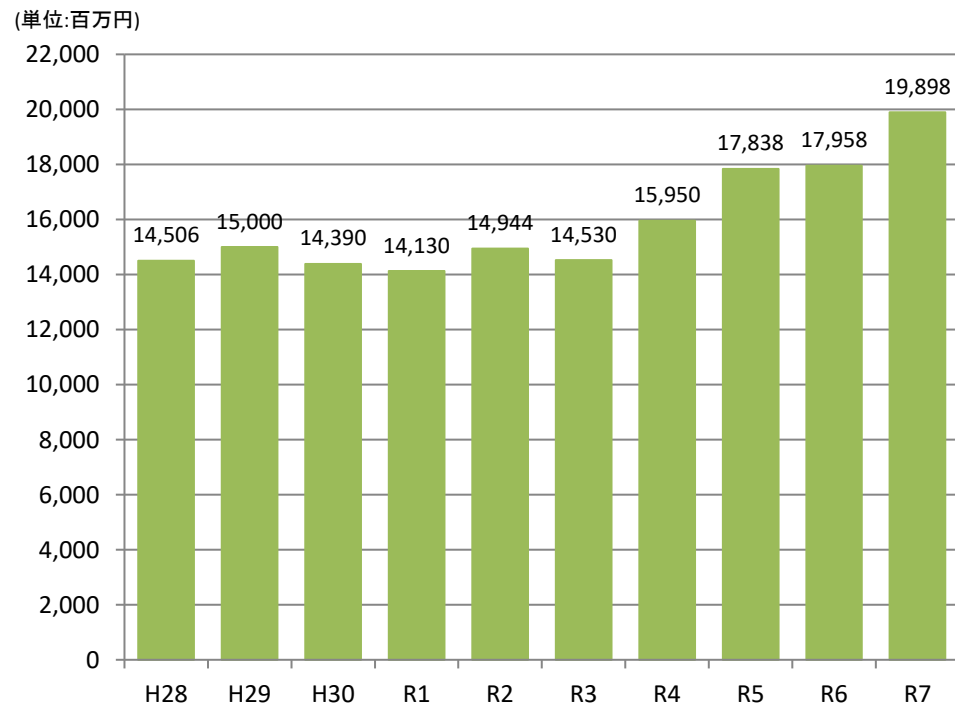


令和7年度予算案のポイント

一般会計の予算規模は、**198億9,800万円**（前年度比＋19.4億円[＋10.8%]）
過去最大規模の予算を措置し、都市計画道路などの都市基盤整備を推進

■一般会計予算規模の推移



■会計別予算の規模

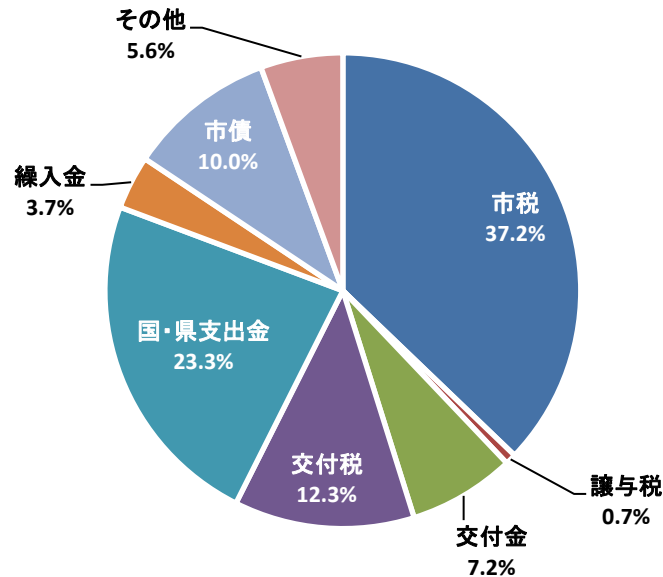
(単位:千円、%)

会 計 区 分	令和7年度	令和6年度	増減額	増減率
一 般 会 計	19,898,000	17,958,000	1,940,000	10.8
特 別 会 計	10,138,014	9,874,119	263,895	2.7
国民健康保険特別会計	4,603,246	4,530,091	73,155	1.6
後期高齢者医療特別会計	969,815	931,951	37,864	4.1
介護保険特別会計	4,198,687	4,116,886	81,801	2.0
白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計	366,266	295,191	71,075	24.1
公 営 企 業 会 計 ※	2,773,068	3,228,548	△ 455,480	△ 14.1
水 道 事 業 会 計	1,258,897	1,667,177	△ 408,280	△ 24.5
公 共 下 水 道 事 業 会 計	1,404,941	1,466,150	△ 61,209	△ 4.2
農 業 集 落 排 水 事 業 会 計	109,230	95,221	14,009	14.7
合 計	32,809,082	31,060,667	1,748,415	5.6

※ 公営企業会計予算規模:総費用－減価償却費＋資本的支出

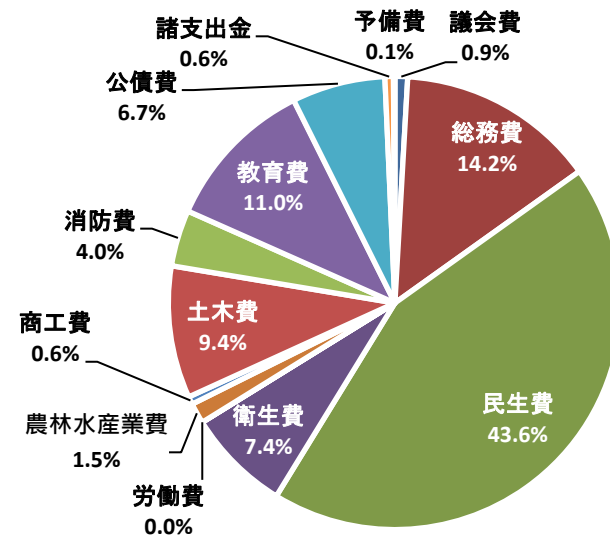
令和7年度予算案のポイント

■歳入の構成



- ◆ 市債の増(+8.9億円)
- ◆ 地方交付税の増(+3.3億円)
- ◆ 国庫支出金の増(+1.7億円)
- ◆ 市税の増(+1.7億円)
- ◆ 分担金及び負担金の増(+1.4億円)

■歳出の構成



- ◆ 児童手当支給事業や白岡市保健福祉総合センター維持管理事業など民生費の増(+10.5億円)
- ◆ 小・中学校空調設備整備事業や勤労者体育センター管理運営事業など教育費の増(+7.1億円)
- ◆ 現庁舎等維持管理事業や一般職給与など総務費の増(+4.9億円)
- ◆ 成人予防接種事業や第二次救急医療体制運営費負担金による衛生費の増(+1.8億円)

令和7年度予算案のポイント

令和7年度予算編成方針

長期的展望におけるまちづくりと持続可能で安定した
行財政運営を目指した未来志向の予算編成



1 都市基盤・交通ネットワークの充実

くらしを支える都市機能の立地を誘導するとともに、幹線道路の整備や公共交通の充実により快適で誰もが住みやすい白岡のまちを創る。

2 誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進

子どもを安心して生み育てることができる地域社会を目指し、子育て環境の充実や魅力ある学校づくりを推進するとともに保健・医療・介護などの各種支援の充実を図る。

3 農業・商工業のまちの推進と持続可能な行財政運営

合理的な農地利用の推進などにより地域農業の活性化を図るとともに、将来の財政需要等を考慮し、公共施設の管理やDXの推進を計画的に実施する。

令和7年度予算案のポイント

1 都市基盤・交通ネットワークの充実

■ 都市計画道路の整備推進

4億7,734万円

◆ 都市計画道路白岡宮代線 2億5,834万円

東北自動車道を横断するオーバークリアの整備を推進
令和7年度は、床版・橋面工、全面舗装を実施し、年度内の
開通を目指す。

◆ 都市計画道路白岡駅西口線 2億580万円

県道さいたま栗橋線から白岡駅西口へのアクセス道路として、駅前
広場と一体的に整備を推進
併せて用地取得の原資とするため、土地開発基金へ1億2,000万円
の繰り出しを実施

◆ 都市計画道路見直し事業 1,320万円

未整備となっている都市計画道路及び構想路線の必要性・妥当性
を評価し、まちの将来像に対応した都市計画道路網の形成を図る。



■ 良好な市街地の形成

3億6,627万円

白岡駅東側地域の街路築造工事（白岡駅東口線・駅周辺街路築
造工事等）や物件の移転を実施し、土地区画整理事業を推進
【白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計】

■ のりあい交通の実施

5,686万円

交通弱者の交通利便性向上を図るため
引き続きのりあい交通を実施



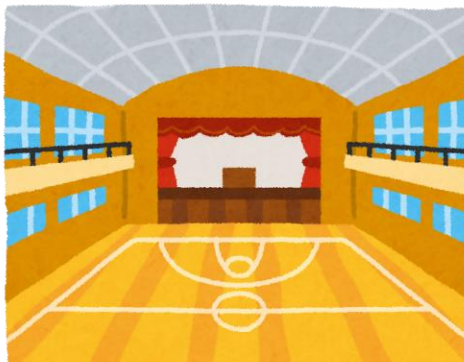
令和7年度予算案のポイント

2 誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進

新 学校体育館等への空調設備導入

6億3,900万円

避難所にも指定されている各学校等の体育館に空調を設置
子どもたち、そして、市民の皆様の安心・安全を守る。



新 学校適正規模・適正配置に向けた取組

2,060万円

学校教育を将来にわたり魅力的で持続可能なものとするための将来ビジョンを策定



学校給食費の負担軽減

2,715万円

昨年度に引き続き、学校給食費の改定に伴う引上げ分に対し補助を実施

学校給食費の引上げ分の補助（小600円/月、中700円/月）

新 試験的高齢者移送支援事業

321万円

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が送れるようになるため、試験的な移送支援を行うとともに、実績を分析し継続的な移送支援ができるよう調査研究を進める。

新 ICT見守りサービス事業

132万円

一人暮らしの高齢者にICTを活用した見守りサービス（ハローライト）を提供する。

新 高齢者補聴器購入助成事業

80万円

聴力機能の低下により日常生活に支障を来している高齢者に対し、補聴器の購入に要する費用を助成

重層的支援体制整備事業

3,999万円

生活課題を抱える地域住民及びその世帯に対する支援体制並びに地域住民等による地域福祉の推進のために必要な環境を整備する。

令和7年度予算案のポイント

3 農業・商工業のまちの推進と持続可能な行財政運営

■ ほ場整備の推進

3,425万円

水田農業を将来的に維持していくために、農地集積に必要な基盤整備を行い、農業生産効率の向上を図る。



■ 新 カメムシ対策事業

150万円

暖冬の影響等により増加したカメムシの水稻被害の拡大を受け、農薬購入費等を支援することにより農業者による広域的な防除を推進する。

■ 駅周辺空き店舗の出店支援

208万円

駅周辺の空き店舗へ出店する事業者に対し、改修費等の補助を実施

■ 新 本庁舎設備等の更新工事の実施

6億1,325万円

設置から30年以上が経過している本庁舎のエレベーターと防火設備の改修を行う。

- ・エレベーター改修工事 4,404万円
- ・防火設備等改修工事 3億5,393万円

また、保健福祉総合センター（はぴすしらおか）について、開館後20年が経過したことから改修工事を行う。

- ・外部改修工事 2億340万円
- ・直流電源盤の設備更新工事 1,188万円

■ 基幹業務システムの標準化

2億3,323万円

国の方針に基づき、令和7年度中に基幹業務システムの標準準拠システム及びガバメントクラウドへの移行を推進

